

改訂2版『集中講義 生化学』正誤表

改訂2版『集中講義 生化学』(2017年4月1日第2版第1刷)に誤りがありました。ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

2019年1月30日  
(メジカルビュー社編集部)

| 頁   | 該当箇所                         | 誤  | 正   |
|-----|------------------------------|--|---|
| 50  | 図2 一番上の図                     |  <p>ハイブリダイズ</p> |  <p>ハイブリダイズ</p> <p>赤いRNA分子の「テロメアDNA」が「<b>テロメラーゼRNA</b>」となる。</p> |
| 66  | 本文最終行                        | …セリン, <b>プロリン</b> , アルギニンは6通りの   | …セリン, <b>ロイシン</b> , アルギニンは6通りの  |
| 69  | 図2 Step1 右下                  | A部位に入った <b>アミノアミル</b> tRNA   | A部位に入った <b>アミノアシル</b> tRNA  |
| 196 | 本文下欄外                        | p.199 QUESTION 正解  | p.203 QUESTION 正解(p.204へ移動)、p.200にある正解が入る。  |
| 197 | 表1                           | 鉄(Fe) (Feイオン)の列にある ドーパミンβヒドロキシラーゼ を <b>銅(Cu)</b> の列へ移動   |   |
| 200 | 本文下欄外                        | p.195 QUESTION 正解  | 現在ある正解はp.196へ、p.204にある正解が入る   |
| 204 | 本文下欄外                        | p.203 QUESTION 正解  | p.199 QUESTION 正解(p.200へ移動)、p.196にある正解が入る。  |
| 212 | 模範解答2行目                      | …ピルビン酸は乳酸となり2分子の乳酸, 2分子のATPとなる。  | …ピルビン酸は乳酸にまで代謝され結果的に <b>グルコースは2分子の乳酸と2分子のATP</b> になる。   |
| 226 | 図1 ここがPOINT                  | マトリックス側に汲みあげられたプロトン(H <sup>+</sup> )はATPシンターゼによって <b>内腔側</b> に戻る。そのときにATPが生じる。                   | <b>膜間腔側</b> に汲みあげられたプロトン(H <sup>+</sup> )はATPシンターゼによって <b>マトリックス側</b> に戻る。そのときにATPが生じる。   |
| 233 | 図5 ここがPOINT<br>上から3行目        | 維持に働く筋肉では  | 維持に働く。筋肉では  |
| 236 | 下から14行目                      | …これらは共通の調節因子(フルクトース-2,6-ビスリン酸)により、   | …これらの <b>共通の調節因子(フルクトース-2,6-ビスリン酸)は</b>   |
| 237 | 図5 ここがPOINT<br>下から2行目        | 逆の <b>脱リン酸化</b> はグルカゴンに  | 逆の <b>リン酸化</b> はグルカゴンに(脱をトル)  |
| 265 | 模範解答3行目                      | 高カロリー食を食べ続けると、…  | <b>過剰に糖分を摂取すると、…</b>  |
| 268 | 8行目                          | コレステロールは胆汁酸, ステロイドホルモン, <b>ビタミンD</b> に変換される。   | コレステロールは胆汁酸, ステロイドホルモンに変換される。 <b>(ビタミンDをトル)</b>   |
| 269 | QUESTION(2)                  | b <b>MG-CoA</b> リアーゼ   | b <b>HMG-CoA</b> リアーゼ   |
| 288 | 左の欄外 本文1<br>行目               | ファネシルニリン酸は…  | <b>ファルネシル</b> ニリン酸は…  |
| 311 | 下から8行目                       | …皮膚表面の <b>角質細胞質</b> の成分で、…   | …皮膚表面の <b>角質細胞間質</b> の成分で、…   |
| 378 | 左の欄外「代表的<br>な調節」<br>①解糖系 4行目 | AMPで阻害され、クエン酸で活性化される。  | AMPで <b>活性化</b> され、クエン酸で <b>阻害</b> される。   |